

予 算 決 算 委 員 会 会 議 録

開会日	令和4年12月13日（火）午前9時30分
閉会日	令和4年12月13日（火）午前10時28分
場 所	長久手市役所本庁舎 2階 議場
出席委員	委員長 ささせ順子 副委員長 なかじま和代 委 員 青山直道 石じまきよし 伊藤真規子 伊藤祐司 大島令子 岡崎つよし 加藤和男 木村さゆり さとうゆみ 田崎あきひさ 富田えいじ 野村ひろし 山田かずひこ 山田けんたろう わたなべさつ子
欠席委員	な し
欠 員	な し
会議事件のため出席した者の職氏名	市長 吉田一平 総務部長 加藤英之 次長（行政、財政担当） 福岡隆也 財政課長 井上隆雄 課長補佐 浅井紳一郎 情報課長 古橋 剛 課長補佐 伊藤友人 <p style="text-align: right;">計 7人</p>
職務のため出席した者の職氏名	議長 川合保生 議会事務局長 横地賢一 議事課長 福岡弘恵 議事係長 村瀬紗綾香
会議録	別紙のとおり

別紙

委員長 開会宣言

委員長 令和4年11月25日の予算決算委員会にて各分科会に送付した議案3件について分科会長の報告を求める。

総務くらし建設分科会長

審査経過の報告

議案第54号（総務くらし建設分科会送付分）

※審査経過の詳細は[予算決算委員会総務くらし建設分科会会議録参照](#)

総務くらし建設分科会長報告に対する質疑 なし

教育福祉分科会長

審査経過の報告

議案第54号（教育福祉分科会送付分）

議案第55号

議案第67号

※審査経過の詳細は[予算決算委員会教育福祉分科会会議録参照](#)  
教育福祉分科会長報告に対する質疑 なし

**議案第54号令和4年度長久手市一般会計補正予算（第10号）**

討論

反対討論 なし

賛成討論 なし

採決

賛成全員により、原案のとおり可決

**議案第55号令和4年度長久手市介護保険特別会計補正予算（第2号）**

討論

反対討論 なし

賛成討論 なし

採決

賛成全員により、原案のとおり可決

## 議案第 67 号令和 4 年度長久手市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）

討論

反対討論 なし

賛成討論 なし

採決

賛成全員により、原案のとおり可決

委員長 以上で討論採決を終了する。

### 所管事務調査

#### 令和 4 年度の交付金申請・交付状況（新型コロナ対策含む）及び事業実施状況について

委員長 まず、資料「令和 4 年度の交付金申請・交付状況及び事業実施状況について」の説明をお願いしたい。

財政課長 令和 4 年度の当初予算及び補正予算で計上した国の交付金について、11 月末時点の状況を一覧表にした。表中の調定済額は、国から交付決定があり、今後何らかの事情による変更がない限り確実に支給される額である。交付金を充当する事業の実績額が、申請したときの想定額を下回った場合は、来年度に精算を行う必要があり、返還金として来年度の補正予算に計上する。

デジタル田園都市国家構想推進交付金については、令和 4 年 1 月に国から募集の通知があり、3 月の定例会で令和 4 年度の補正予算として 2,422 万 3,000 円を計上した。事業費の 2 分の 1 にあたる 1,211 万 1,000 円はこの交付金を充当し、残りの 2 分の 1 は地方創生臨時交付金を充当することとした。交付金充当事業である 3 事業のうち、地域活動ポイントアプリ整備事業については、ポイントアプリ普及の原動力となるような新たな事業を全庁的に模索したものの、費用対効果の高い事業を見出すことができなかったため、今年 10 月、交付金の取下げ申請をして国から認められた状況である。

山田(か)委員 地域活動ポイントの対象事業については、いろいろな相談や提案があったと思うが、アプリ整備の効果を上げることができないと判断したのはなぜか。検討する時間が足りないということか。

情報課長 現在実施しているさまざまなポイントを統合し、ポイントを店舗などで使用することで地域経済の発展につながるようなアプリを考

えていた。しかし、例えばスマイルポイントはボランティア活動に対するもの、健康マイレージは自分自身の運動に対するものに付与され、それぞれのポイントの交換レートなどが違うため、統合は困難との判断に至った。

山田(か)委員 もう少し時間があれば検討できるかもしれないと思うが、この交付金は今年度限りか。

情報課長 今年度限りの交付金のため、継続はできない。

さとう委員 スマイルポイントは、例えば共生ステーションでボランティア活動などがあると、ポイント交付用のシールを共生ステーションのスタッフが市役所まで取りに行かなくてはならず、とても手間である。いろいろなポイントの統合は困難かもしれないが、スマイルポイントだけでもアプリを導入できないか。

また、地域活動ポイントアプリ整備事業について、これまでに支出はあったか。

情報課長 スマイルポイントだけであればアプリの導入はできるかもしれないが、担当課にその意向はない。また、交付金の対象事業として申請してからこれまでに支出はない。

さとう委員 担当課がアプリの導入を希望すればできるのか。

情報課長 あくまでツールとしては可能かもしれないが、担当課としては、スマイルポイントはあくまでも対面して発行することが重要な事業と考えているということである。

大島委員 当初、地域活動ポイントアプリ整備事業を交付金の対象事業として検討することとした際に、それぞれの事業の業務の流れなどをきちんと確認したのか。

情報課長 市がいろいろな課で実施しているポイント制の事業について把握はしていたが、全ての事業を横に並べて統一が図れるかどうかの理解までは、検討を始める段階ではできていなかった。

委員長 次に、資料「令和4年度新型コロナウイルス感染症対策事業まとめ」について説明願う。

財政課長 今回の報告は、11月末現在の新型コロナウイルス感染症対策事業の実施状況及び国から交付される「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の充当状況についてである。

11月末現在、前年度からの繰越を加えて3億4,475万5,000円の交付決定を受けており、今年度末までに完了する事業に全額を充当する必要がある。

今年度、新たに交付された交付金は原油価格・物価高騰対応及び電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援であり、昨年度に比べ充当事業が限定されている。この交付金は、昨年度までと同様に、市町村ごとに交付限度額が示された後、この額を上回る事業計画を提出することで、限度額までの交付が受けられる性質を持つ。このため、事業計画には交付限度額を超える事業規模で記載している。

本市が新型コロナウイルス感染症対策として令和4年度に実施する事業は、補正予算で提出したものも含めて、11月末現在で44事業である。事業費の実績見込みは13億円余りだが、全額国費の事業を除くと5億円程度になる予定である。教育・子育て支援施策が全体の約55パーセントを占める。さらに地方創生臨時交付金のみの対象事業を含む単独事業に絞ると、設備の改修が約20パーセント、商工支援が約14パーセントであり、令和3年度と比べると、生活支援に限られる福祉医療の分野への支援の比重が小さくなり、教育・子育てや商工の分野への支援の比重が大きくなっている。

山田(か)委員 中小企業者等支援補助金について、11月末現在の交付決定件数が0件とのことだが、先日、モリコロパーク内の「サツキとカエデ商店街」で、市内のパン屋アヴァンセが作った戦国武将隊のキャラクターのラスクを販売していた。補助金の申請はなかったか。

財政課長 申請受付の開始が10月24日であり、問合せは数件あったが、どの事業者かまでは把握していない。

山田(か)委員 市商工会にはこの補助金について周知しているか。

財政課長 案内しているので、商工会に加入している事業者であれば耳にしていると思う。

大島委員 補助金の使途はどのように決めているのか。市の各課に補助金のメニューを示し、各課から事業を募集する形か。または企画政策課で該当する事業を決めるのか。

財政課長 国から交付金の内容や金額が示された時点で各部長に伝え、事業の募集をする。ただ、申請までの時間が限られていることもあるため、財政課である程度、近隣市町や先進地の状況などを調査して、担当課に事業の提案をしている。

大島委員 以前、近隣の自治体は水道代の補助を実施したが、本市は実施しなかった。どこの住民も同じようにコロナ禍の影響を受けていると思う。政策の決定はどこでされるのか。

財政課長 瀬戸市と尾張旭市は水道代の補助を行ったと聞いている。長久手

市の上水道は中部水道企業団が事業を行っており、中部水道企業団が管轄している市町との調整が必要になるが、補助の実施についての声は上がらなかった。

さとう委員 今年度は、3億4,475万5,000円の交付金の決定を受けていて、その中には今年度新たに交付された、原油価格・物価高騰対応及び電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援の交付金も含まれており、これは充当事業が限られているとのことである。

これらの交付金はどのような仕組みになっているのか。

財政課長 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、市町村の裁量で幅広い事業を対象とすることができる。実施計画にたくさんの事業を掲載しておいて、充当する事業は後から変更できる。

原油価格・物価高騰対応及び電力・ガス・食料品等価格高騰の対策についても、地方創生臨時交付金の仕組みを使って行うことを国が決めたため、同じ交付金の中で配分を行った。

配分の内訳は、新型コロナウイルス感染症対応が1億874万7,000円、物価高騰などの対応が2億3,600万8,000円である。

さとう委員 史跡の解説看板のリニューアルや、ジブリパーク関連のイベント実施なども、新型コロナウイルス感染症対応として交付金の対象になるのか。

財政課長 新型コロナウイルスの影響による消費の冷え込みなどの対策にも交付金を利用してほしいというのが国の意向であり、商工観光の分野への支援も対象とすることができる。

委員長 以上で所管事務調査を終了する。

委員長 広報広聴協議会広聴部会が行った議会アンケートでいただいた市民からの意見のうち、予算決算委員会に振り分けられたものが4件ある。まとめると、事業の必要性をチェックした上で予算配分をし、無駄遣いをなくしてほしいという内容である。

予算決算委員会では、当初予算の審査だけでなく定期的に所管事務調査を行って、予算執行状況の確認と評価ができるよう努めている。2つの常任委員会が所管する事務の量の差についてはかねてから課題となっており、分科会に送付する予算決算の審査機能にも関わることではあるが、市の組織体制も関係するため、執行部との調整や常任委員会全体での議論が必要になってくる。

改選後の議員に向けて見直すべき点などを引き継げるよう、ご意

見があればdesknet'sNEOの電子会議室に入力してほしい。

委員長 委員長報告は委員長と副委員長への一任を確認。

委員長 閉会宣言

午前 10 時 28 分終了

以上、要点筆記は会議内容と相違ないので署名する。

令和 4 年 12 月 13 日

予算決算委員会委員長 ささせ順子